

事業評価書

補助事業名	交通施設：道路照明灯設置				
補助事業者名	瑞穂町長				
実施場所	瑞穂町大字駒形富士山、大字高根、大字箱根ヶ崎地区				
補助事業の成果の目標	<p>瑞穂町内の多くの道路照明灯は、老朽化による道路照明灯内部の劣化により、照度も落ち、夜間の交通安全に支障を来している。</p> <p>平成29年度から令和7年度までの9年間で、瑞穂町内全ての道路照明灯約1,900基を、順次、LED道路照明灯に更新していき、瑞穂町内の交通の安全と円滑化を図る。</p>				
補助事業の内容	道路照明灯設置 令和4年度実施分 178基（既存照明灯のLED化178基）				
補助事業の始期及び終期	平成29年度 — 令和7年度				
事業費及び交付金額		令和3年度 以前	4年度	5年度以降 予定	計
	事業費	円 168,498,400	円 30,151,000	円 232,098,880	円 430,748,280
	交付金額	円 150,000,000	円 26,922,000	円 199,078,000	円 376,000,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>[補助事業の成果及び評価] 事業を実施した地区の町内会長に整備前後の状況を聞き取った結果、LED道路照明灯の設置により道路が明るくなった、車や歩行者にとって安全な道路になったという意見をいただき、交通の安全と円滑化が図れたことを確認できた。</p> <p>[地域住民への周知の実施状況] ・工事期間中、工事看板に防衛省交付金事業である旨を記載 ・工事完了後、防衛省交付金事業である旨の標示シートを設置 ・町の広報紙（5月号）及びホームページに掲載</p>				
事業の改善措置及び今後の対応	無				
事業評価に際しての第三者機関の活用の有無	無				

事業評価書

補助事業名	通信に関する事業：ホームページ運用保守委託事業基金									
補助事業者名	瑞穂町長									
実施場所	瑞穂町大字箱根ヶ崎2335番地									
補助事業の成果の目標	行政情報を発信する手段のひとつである町公式ホームページ及びCMS（コンテンツマネジメントシステム）等が、災害時や障害時などでも支障なく、また、日々進化をとげているウイルス及びサイバー攻撃に対してのセキュリティ対策等への対応も含め、安定的に公開し続けられるようにするため、業者による運用保守委託事業を行う。									
補助事業の内容	瑞穂町ホームページの管理運営を委託									
補助事業の始期及び終期	基金の造成：平成28年度から令和7年度 基金の処分：平成29年度から令和8年度									
事業費及び交付金額	基金造成額(A)						基金 処分額 (B)	基金 残額 (A)-(B)	継続 事業に 要した 額	
	年度	交付金	市町村費等	その他	運用益	計				
		円	円	円	円	円	円	円	円	円
	平成28年度	1,000,000	0	0	0	1,000,000	0	1,000,000	0	
	平成29年度	11,000,000	0	0	80	11,000,080	4,000,000	8,000,080	6,220,800	
	平成30年度	5,000,000	0	0	440	5,000,440	4,000,000	9,000,520	6,220,800	
	令和元年度	0	0	0	900	900	4,000,000	5,001,420	5,750,400	
	令和2年度	3,000,000	0	0	48	3,000,048	4,000,000	4,001,468	6,336,000	
令和3年度	6,500,000	0	0	0	6,500,000	4,500,000	6,001,468	6,336,000		
令和4年度	5,000,000	0	0	0	5,000,000	4,500,000	6,501,468	6,336,000		
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>〔補助事業の成果及び評価〕 町民が必要とする暮らしの情報や行政情報、町の最新情報を安定して公開し続けるため、業者により運用保守委託事業を行った。令和2年度には年間を通じ一度だけ閲覧できない状況が発生したが、その後は、同様の障害が発生しないよう、保守委託業者に確認を厳重に行うよう指示することに加え、担当者においても確認を行う旨の再発防止策をとった結果、同様の事態の再発は起きていない。今後も安定的に公開し続けるよう努めていく。</p> <p>〔地域住民への周知の実施状況〕 ホームページ内で、防衛省の「特定防衛施設周辺整備調整交付金」を活用してホームページの運営と保守を行っている旨を掲載した。</p>									
事業の改善措置及び今後の対応	無									
事業評価に際しての第三者機関の活用の有無	無									

事業評価書

補助事業名	通信に関する事業：広報番組制作放送委託事業基金								
補助事業者名	瑞穂町長								
実施場所	瑞穂町大字箱根ケ崎2335番地								
補助事業の成果の目標	広報紙やホームページのほか、ケーブルテレビで広報番組を放送して、町民が情報を取得する手段を増やすことにより、町政への理解・関心を高める。また、町職員の顔を覚えていただき、町行政を身近な存在とらえていただくことで、住民サービス向上につなげる。								
補助事業の内容	広報番組「みずほニュース」の制作及び放送を委託								
補助事業の始期及び終期	基金の造成：平成28年度から令和7年度 基金の処分：平成29年度から令和8年度								
事業費及び交付金額	基金造成額(A)						基金 処分額 (B)	基金 残額 (A)-(B)	継続 事業に 要した 額
	年度	交付金	市町村費等	その他	運用益	計			
		円	円	円	円	円	円	円	円
	平成28年度	822,000	0	0	0	822,000	0	822,000	0
	平成29年度	11,000,000	0	0	70	11,000,070	3,500,000	8,322,070	3,650,400
	平成30年度	7,000,000	0	0	449	7,000,449	4,380,000	10,942,519	4,745,520
	令和元年度	0	0	0	1,000	1,000	4,400,000	6,543,519	4,417,660
	令和2年度	3,100,000	0	0	297	3,100,297	4,400,000	5,243,816	4,833,400
	令和3年度	5,000,000	0	0	0	5,000,000	4,800,000	5,443,816	4,833,400
令和4年度	6,000,000	0	0	0	6,000,000	4,800,000	6,643,816	4,833,400	
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>〔補助事業の成果及び評価〕 平成29年6月29日から、瑞穂ケーブルテレビで広報番組「みずほニュース」の放送を開始し、令和4年度末までに全150番組を制作した。番組は、2週間毎に内容を更新し毎日放送を行い、これまでの活字による媒体ではなく、映像と音声によって町の取組をPRすることができた。また、町民に職員に対する親近感を感じていただくように、数多くの職員が出演するように番組構成を考え、住民サービス向上につなげた。さらに、放送内容について、緊急性があるものについては直前差し替えるなど、住民に必要な情報を必要なタイミングで放送するよう対応した。新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言発出時には、交代制在宅勤務となったため、通常放送ではなく、季節に合った内容の代替番組を放送した。 放送が終了したものは、町公式ユーチューブに掲載することで、インターネットに接続可能なパソコンやタブレット、スマートフォンなどを通し、視聴エリア外にも広く発信できた。希望者には、DVDを貸し出せるようにDVDを作成した。</p> <p>〔地域住民への周知の実施状況〕 作成した広報番組では字幕により「この番組は、防衛省の「特定防衛施設周辺整備調整交付金」を活用して制作・放送している」旨を表示して、地域住民への周知を実施した。 また、毎月1回発行し、町内全戸に配布している広報紙「広報みずほ」では、令和4年10月号に、広報番組「みずほニュース」について、番組内容、放送日、放送チャンネル、放送時間、町公式ユーチューブの二次元コード、防衛省の「特定防衛施設周辺整備調整交付金」を活用して制作・放送している旨、「みずほニュース」に関する意見募集についての記事などを掲載して、地域住民への周知を実施した。 町ホームページでは、「町政情報」内にある「広報」の 카테고리の中に、広報番組「みずほニュース」のページを設け、番組の放送内容・動画配信（バックナンバーを町公式ユーチューブで視聴する方法）、DVDの貸し出しについて、防衛省の「特定防衛施設周辺整備調整交付金」を活用して制作・放送している旨を掲載して、地域住民への周知を実施した。</p>								
事業の改善措置及び今後の対応	無								
事業評価に際しての第三者機関の活用の有無	無								

事業評価書

補助事業名	教育、スポーツ及び文化に関する事業：郷土資料館指定管理委託運営事業基金								
補助事業者名	瑞穂町長								
実施場所	瑞穂町大字駒形富士山316番地								
補助事業の成果の目標	瑞穂町郷土資料館けやき館は、平成26年11月の開館以来、町内外から多くの来館者で賑わい、瑞穂町を代表する集客施設となっている。特に、瑞穂町の自然を紹介する「狭山丘陵の再現」やプロジェクトショーマッピングによる瑞穂町の生い立ちを紹介する「地形シアター」、上空1700mから撮影された航空写真「バーズアイ」、隣接する米国空軍横田基地に関するコーナー設置等、他の資料館では見ることのできない展示もそうであるが、魅力ある企画展、各種講演会、イベントなど日々何かしらの行事を仕掛けている運営が好評であり、これらの発想は指定管理者によるところが大きい。公の考えにとらわれない運営状況が、当館の入館者数に反映されている。これらの運営費等に補助事業を該当させることで、安定的な運営をベースに、更なる事業仕掛けを行うことで、瑞穂町の魅力発信につなげるとともに交流人口の増加に寄与することを目的とする。								
補助事業の内容	郷土資料館の管理運営を委託								
補助事業の始期及び終期	基金の造成：平成28年度から令和7年度 基金の処分：平成29年度から令和8年度								
事業費及び交付金額	基金造成額(A)						基金 処分額 (B)	基金 残額 (A)-(B)	継続 事業に 要した 額
	年度	交付金	市町村費等	その他	運用益	計			
		円	円	円	円	円	円	円	円
	平成28年度	2,500,000	0	0	0	2,500,000	0	2,500,000	0
	平成29年度	70,000,000	0	0	200	70,000,200	30,000,000	42,500,200	55,843,644
	平成30年度	70,000,000	0	0	616	70,000,616	50,000,000	62,500,816	55,139,000
	令和元年度	0	0	0	1,000	1,000	30,000,000	32,501,816	57,587,098
	令和2年度	25,500,000	0	0	1,001	25,501,001	30,000,000	28,002,817	56,752,000
令和3年度	58,000,000	0	0	0	58,000,000	50,000,000	36,002,817	57,017,000	
令和4年度	38,000,000	0	0	0	38,000,000	50,000,000	24,002,817	57,036,000	
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>[補助事業の成果及び評価]</p> <p>瑞穂町郷土資料館けやき館では、年間を通して企画展や歴史講演会、親子で楽しめる工作教室や耕心館との連携事業（みずほ山野草ウィーク・瑞穂のつるし飾りなど）といった魅力ある事業を数多く実施しました。また、自然や文化の拠点施設として情報の発信、各種団体等との協力、広報活動の充実を図りました。</p> <p>開館時間について、午前10時から午後9時までとしていたものを、現状の利用実態に合わせ、令和5年1月より午前9時から午後5時までに変更しました。それでも年間の来館者数は30,866人と前年度比26.8%、6,527人の増加となりました。今後も、効率的に郷土資料館の運営を行います。</p> <p>館内に設置しているアンケート調査では、1,223名の方から回答をいただき、常設展示や展示の見やすさ、スタッフの対応などの項目で、「大変良い」「良い」という回答は全て90%を超えています。</p> <p>[地域住民への周知の実施状況]</p> <p>広報紙、ホームページ及び館内に防衛省調整交付金を活用した旨を掲示し、PRしています。</p>								
事業の改善措置及び今後の対応	無								
事業評価に際しての第三者機関の活用の有無	無								

継続事業に要した額＝収支計（実績）－（保険料＋租税公課＋雑費＋備品購入費＋自動販売機手数料＋自主事業入場料＋施設使用料）

※他の数字は「特定防衛施設周辺整備交付金事業費等計算表」を参照

事業評価書

補助事業名	環境衛生に関する事業：リサイクルプラザ運転業務委託運営事業基金								
補助事業者名	瑞穂町長								
実施場所	瑞穂町大字箱根ヶ崎1723番地								
補助事業の成果の目標	みずほリサイクルプラザは、平成15年の開所以来、家庭から排出される一般廃棄物のうち、不燃ごみ、資源ごみ、有害ごみ及び粗大ごみの中間処理を行っている。特に循環型社会の形成を促進するため、容器包装プラスチック選別圧縮梱包施設では、日々、作業員による手作業により、品質の高いプラスチック資源を選別している。一般廃棄物の処理については、町に統括的な責任があることから、1日たりとも休止することはできない。そのため、この施設の機能を十分に発揮させるため、特定防衛施設周辺整備調整交付金を活用し、適切に安定稼働させていく。								
補助事業の内容	みずほリサイクルプラザの運営を外部委託する事業								
補助事業の始期及び終期	基金の造成：平成28年度から令和7年度 基金の処分：平成29年度から令和8年度								
事業費及び交付金額	基金造成額(A)						基金 処分額	基金 残額	継続 事業に 要した 額
	年度	交付金	市町村費等	その他	運用益	計			
		円	円	円	円	円	円	円	円
	平成28年度	8,000,000	0	0	0	8,000,000	0	8,000,000	0
	平成29年度	170,566,000	0	0	650	170,566,650	80,000,000	98,566,650	128,016,936
	平成30年度	145,266,000	0	0	550	145,266,550	90,000,000	153,833,200	123,694,560
	令和元年度	28,000,000	0	0	1,000	28,001,000	90,000,000	91,834,200	115,665,889
	令和2年度	49,782,000	0	0	1,000	49,783,000	90,000,000	51,617,200	128,705,034
	令和3年度	132,000,000	0	0	0	132,000,000	100,000,000	83,617,200	129,267,600
令和4年度	120,000,000	0	0	0	120,000,000	100,000,000	103,617,200	130,398,400	
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>[補助事業の成果及び評価] 家庭から排出される一般廃棄物のうち、不燃ごみ、資源ごみ、有害ごみ及び粗大ごみの中間処理を適切に行ってきた。搬入・搬出量を把握することで作業の効率化を図り、最終処分されるごみの減量及び資源化されるゴミの選別への取り組みに反映させた。特に循環型社会の形成を促進するため、容器包装プラスチック選別圧縮梱包施設では、日々、作業員による手作業により、品質の高いプラスチック資源が休止することなく選別することができた。また、粗大ごみの受入れについても作業員による資源分別を行い、その品質向上に努めてきた。更に、リサイクル品として使用可能なものを選別し、販売することで地域住民へと循環され、この事業の重要性を周知させてきた。よって、適切に安定稼働できたことで、この施設の機能を十分に発揮させることができた」と判断する。</p> <p>[地域住民への周知の実施状況] 広報紙及びホームページのほか、ごみ・資源物カレンダーやみずほリサイクルプラザのパンフレットに防衛省調整交付金を活用した旨を掲載しPRしている。また、施設見学者や視察に来られた方々へも施設の重要性についてPRした。</p>								
事業の改善措置及び今後の対応	無								
事業評価に際しての第三者機関の活用の有無	無								

事業評価書

補助事業名	教育、スポーツ及び文化に関する事業：健康づくり推進事業基金								
補助事業者名	瑞穂町長								
実施場所	瑞穂町大字箱根ケ崎1180番地								
補助事業の成果の目標	町民自ら健康づくりへの積極的な取組ができる環境づくりを推進するため、体育器具の使用及びトレーナーの指導による健康づくりを実施し、「健康で活力ある人づくり」「活気ある町づくり」を推進する。								
補助事業の内容	体育器具の使用及びトレーナーの指導による健康づくりを企画し実施する。								
補助事業の始期及び終期	基金の造成：令和2年度から令和11年度 基金の処分：令和3年度から令和12年度								
事業費及び交付金額	基金造成額(A)						基金 処分額 (B)	基金 残額 (A)-(B)	継続 事業に 要した 額
	年度	交付金	市町村費等	その他	運用益	計			
		円	円	円	円	円	円	円	円
	令和2年度	8,000,000	0	0	0	8,000,000	0	8,000,000	0
令和3年度	13,471,000	0	0	0	13,471,000	8,000,000	13,471,000	11,849,328	
令和4年度	8,000,000	0	0	0	8,000,000	10,000,000	11,471,000	11,613,712	
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>〔補助事業の成果及び評価〕 令和4年度は新型コロナウイルス感染症も減少傾向になり通常通りの開館となりました。年間利用者数は、延べ3,910と前年より630人増の利用者となり、徐々に増加しています。当施設の設置が近隣住民の要望でもあり、利用者の半数以上が近隣住民でした。また、約半数が60歳以上でした。利用者へのアンケートでは、利用目的は「健康維持」「体力維持」「筋力アップ」や「運動不足解消」のためとの回答が多くあり、利用後の体の変化では、「健康になった」「筋力がついた」など体力増進が図られている旨の回答が多くありました。施設設置の目標である「町民自ら健康づくりへの積極的な取組ができる環境づくり」「健康で活力ある人づくり」「活気ある町づくり」の推進に大きく貢献しています。その他には、自由意見では施設の継続等の意見がありました。</p> <p>また、月2回開催している健康エクササイズは、毎回、人数制限（4月から12月まで）上限数まで申込者があり、参加者からは実施回数を増やしてほしいとの意見もあるなど、たいへん好評を得ています。</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大防止のため利用制限（密になっている器具の間引き等）を行いながらの開設でしたが、利用者数は予想以上の成果となりました。引き続き「特定防衛施設周辺整備調整交付金」で運営していることを広くPRし、利用者数の増や利用の促進を図り瑞穂町民に無くてはならない施設として位置づけられ、町民の健康づくりに貢献できるよう努力していきます。</p> <p>〔地域住民への周知の実施状況〕 広報紙への掲載と長岡コミュニティセンターに、防衛省の「特定防衛施設周辺整備調整交付金」を活用し運営している事業であることを表示している。</p>								
事業の改善措置及び今後の対応	無								
事業評価に際しての第三者機関の活用の有無	無								